

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【公開番号】特開 2019-20909 (P2019-20909A)  
 【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-005  
 【出願番号】特願 2017-137210 (P2017-137210)  
 【国際特許分類】

G 0 5 B 19/418 (2006.01)

G 0 1 B 5/00 (2006.01)

G 0 1 B 5/20 (2006.01)

【F I】

G 0 5 B 19/418 Z

G 0 1 B 5/00 W

G 0 1 B 5/20 C

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 24 日 (2020.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の測定装置から、各測定装置における交換部品の状態を示すコンディション情報を収集する収集手段と、

前記収集手段が収集したコンディション情報に基づき前記交換部品の交換時期を予測する予測手段と、

を備える測定機管理システム。

【請求項 2】

前記予測手段による予測結果に基づき、前記交換部品が必要となる時期及び量に関する情報を生産部門に通知する通知手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の測定機管理システム。

【請求項 3】

前記予測手段による予測結果と、前記交換部品の在庫量とに基づき、前記交換部品の生産計画に関する情報を生産部門に通知することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の測定機管理システム。

【請求項 4】

前記コンディション情報は、前記測定装置における測定データそのものではないことを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の測定機管理システム。

【請求項 5】

前記測定装置が真円度測定装置であり、前記交換部品がスタイラスであり、前記コンディション情報が、前記スタイラスが被測定物に接触した状態で移動した距離を累積した接触移動距離であることを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか 1 項に記載の測定機管理システム。

【請求項 6】

コンピュータを請求項 1 から 4 の何れか 1 項に記載の測定機管理システムとして機能させることを特徴とするプログラム。